

「高千穂郷」通信



発行 宮崎県西臼杵支庁



「チーム西臼杵」が宮崎県の好成績を牽引！

10月6日（木）から10日（月）にかけて、第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会が開催され、宮崎県は、どの県も達成したことのない4大会連続となる内閣総理大臣賞を受賞するなど、宮崎牛が日本一であることを改めて大きくアピールする素晴らしい成績を収めました。

県代表牛22頭のうち9頭は西臼杵からの出品で、内閣総理大臣賞を受賞した7区のほか、3区でも優等首席、4区で優等2席、同じく優等2席となった6区では種牛で1位を獲得するなど、3町すべてからの出品となった「チーム西臼杵」が宮崎県の好成績を力強く牽引する結果となりました。

今回の出品者には若手も多く、牛への熱い想いととも、先人たちから受け継いできた繁殖や飼養の技術がこれからも活かされることで、さらなる飛躍が期待されます。西臼杵の畜産は新たな時代を迎えたと言えるのではないのでしょうか。

台風14号

応急対応インタビュー

9月17日（土）から19日（月）にかけて九州を襲った台風14号は、本県に平成17年の台風14号以来の甚大な被害をもたらし、西臼杵地域にも土砂崩れや道路の崩壊など大きな爪痕を残しました。

西臼杵支庁が管理する道路、河川砂防施設などの日常的な補修や災害時の応急作業は、地域の建設業の方々に担っていただいておりますが、今回の台風14号ではどのような状況だったのか、高千穂地区建設業協会の方々にお話を伺いました。

取材協力

高千穂地区建設業協会

工藤 勝利 会長

工藤 哲二 副会長

甲斐 和幸 副会長



災害復旧の最前線

—— 今回の台風14号は西臼杵地域にも甚大な被害をもたらしましたが、迅速な復旧に当たっていただいたと聞いています。

（工藤 勝利 会長）

今回の台風は雨も風も強く、平成17年の台風14号以上の規模だったのではないかという実感があります。多くの道路が寸断され、復旧に当たる作業員も十分に確保できませんでした。そもそも以前に比べて、建設業の従事者が減っているという事情もあります。

それでも今回は、運輸関係の方々や重機のリース会社など建設産業全体で協力することで、土砂が流れ出た国道218号など主要路線を速やかに通行可能にすることができました。

また、上長川日之影線などの県道では倒木が多く、奥まで入ることができずに集落が孤立する状況もありましたが、なんとか頑張っ、孤立していた時間を短くすることができたと思います。



工藤 勝利 会長

（甲斐 和幸 副会長）

まずは道路です。道路を通さないと、緊急車両も入れずに人の救助もできませんし、電気や電話などのライフラインの復旧作業も進みません。

地域を想う気持ち

—— 作業では危険なこともあると思いますが。

（甲斐 和幸 副会長）

倒木の処理には十分な注意が必要です。倒れかかった木を不用意に伐（き）ると、はねたり、自分の方に倒れたりして危険です。しかし、最近は機械化が進み、バックホー（ショベルがついた重機）にフォーク（挟んだり、掴んだりするアタッチメント）を取り付けて倒木を取り除くので、安全に作業することができるようになりました。倒木を取り除いた後に土砂を処理し復旧を行います。作業を通じてけがをした人はいませんでした。

—— それを聞いて安心しました。

（工藤 哲二 副会長）

ただ、自分の家が断水したり、玄関先まで土砂が来たり、田んぼが崩れたりなど、被災した従業員も多くいましたが、自分のことは後回しで、まずは地元のために道路を通さなければならないという想いで、作業に出てきたのだと思います。

—— 県からお願いしている「仕事」をするというよりも、地域を想う気持ちで作業に当たっているんですね。

（工藤 勝利 会長）

この地域に生まれ育ち、この地域で子どもを育ててきました。建設業に携わってきて培ったノウハウを地域のために最大限発揮できるのは、まさに、今回のように災害に見舞われた時です。また、自分たちでないとできないことです。「使命感」というか、みんな「当たり前のこと」と思ってやったはずで。



甲斐 和幸 副会長



公共工事によって災害に強い地域へ

—— 建設業の皆さんは、普段は主に公共工事をされているのですよね。

(工藤 哲二 副会長)



工藤 哲二 副会長

はい。道路や橋、河川の堤防や砂防ダムなどを造っています。生活を便利にするだけでなく、人の命や財産を守ることにつながる仕事で、造ったものは形として残り、地図に載るものもあります。誇らしい仕事です。

(工藤 勝利 会長)

昔に比べると、西臼杵地域には橋や道路が多く整備されました。その効果はとても大きく、整備されていなければ、今回の被害はもっと大きかったはず。通れなくなっても代替する道路がほかにあれば孤立する集落は減り、被災した道路も手前と奥の二方向から同時に作業することができるため、早く復旧できます。

(工藤 哲二 副会長)

急傾斜地に家がある方からは、崩壊対策工事をしていたので助かったという人もいました。砂防施設は見えないところで山からの土砂を止めていて、縁の下の力持ちのように、私たちの知らないところで災害から暮らしを守ってくれています。

(甲斐 和幸 副会長)

日之影町などで浸水被害がわずかだったのも、堤防や宅地の嵩上げといった公共工事による効果だと思います。

(工藤 勝利 会長)

今回の台風は甚大な被害をもたらし、失ったものもたくさんありますが、幸いにも西臼杵地域で死者がなかったのは、さまざまな公共土木施設が整備されたお陰もあるのではないのでしょうか。

国道218号津花トンネル坑口付近は大量の土砂で塞がれましたが、雨風が治まった9月19日(月)に作業に取りかかっていたが、その日の夕方には通行できるようになりました。



災害発生直後



土砂撤去後

取材を終えて・・・

今回の取材では、現場で災害対応に当たる建設業の皆さんの貴重なお話を伺うことができました。

西臼杵では橋や道路の整備が進んでおり、私も生活の中で当たり前のようにそれらを利用しています。そういったインフラが災害時には重要な役割を果たすということや、実際に災害が起こったときの応急対応は、建設業に携わる方々の地域を想う強い気持ちと迅速な行動によって支えられているということを知りました。

その一方、若い世代の流出や人口減少、高齢化によって西臼杵で暮らす人が減っていく中で、いろいろな分野において、地元の人たちが地域を支えていくということが難しくなるのではないかと感じました。

これからも広報担当としてこの地域にしっかりと向き合い、西臼杵の魅力だけに留まらず、地域の生活や産業を支える方々の姿も広く知ってもらえるように、情報を発信していきたいです。



西臼杵支庁総務課
山口 大貴 主事

復旧に向けて河野知事が現地を視察

9月27日(火)、河野知事は予定されていた上京を取りやめ、西臼杵3町の被害状況を視察しました。

視察では、各町長など地元関係者の方々から説明を受けながら、五ヶ瀬ハイランドスキー場に通じる町道本屋敷波帰線や五ヶ瀬中等教育学校の体育館、高千穂峡の遊歩道、日之影町日吾味駅周辺の家屋や町道吾味椎屋線などが激しく損壊した状況を確認しました。

河野知事は、「改めて被害の大きさを実感した。不安を感じたり、不便で困っている地域住民の皆さんのために、早期復旧に向け全力を尽くしていきたい」と話していました。



のう ぶく

農+福 連携 の取組

農作業体験会

開催

農福連携とは、障がいのある方などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいをもって社会参画を実現していく取組です。また、農福連携を進めることで、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、働き手の確保につながることが期待されています。

その取組の一環として、9月8日（木）に、西臼杵支庁が主催しJA高千穂地区の野菜選果場で農作業の体験会を開催しました。

当日は、障がい者の自立支援などを行っている特定非営利活動法人「彩り」の利用者4名が参加し、きゅうりの箱詰めなどを体験しました。参加者は慣れない手つきできゅうりを並べていましたが、最後には綺麗に箱詰めができると、「今後働いてみたい」という感想を述べていました。



きゅうりの箱詰めの様子

甲斐製茶園 が
(高千穂町)

日本茶AWARD2022
烏龍茶部門

で プラチナ賞 受賞



甲斐 雅也さんと妻 未来さん

高千穂町の甲斐製茶園（代表 甲斐 雅也^{まさや}さん）で生産された烏龍茶が、消費者目線で美味しいお茶を選ぶ「日本茶AWARD2022」の烏龍茶部門で最上位となるプラチナ賞を受賞しました。

烏龍茶と釜炒り茶の製法が、茶葉を炒るという点で共通していることから、西臼杵地域では十数年前から烏龍茶の生産に取り組んでおり、今では全国屈指の産地となっています。甲斐さんは西臼杵地区烏龍茶研究会の会長を務めるなど、西臼杵全体での産地化に力を入れています。

今回受賞した烏龍茶は「たかちほ」という品種で、甲斐さんは「品種の名前を活かしてブランド化に繋がりたい」と話していました。

全国の舞台へ！
第22回全国障害者スポーツ大会

いちご一会
とちぎ大会

出場

10月29日（土）から31日（月）にかけて開催される、第22回全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）に、延岡しろやま支援学校高千穂校 高等部3年の津隈 久輝^{ひさてる}さんが、県代表（陸上 男子800m）として出場します。

知的障害のある津隈さんは、同校の先生の誘いで高校1年から陸上を始めました。毎日遅くまで練習に励んだものの、これまでの大会では良い結果を残せず、悔し涙を流したこともあったそうです。その経験をバネに苦しい練習を乗り越え、3年間の集大成として迎えた今年の県障がい者スポーツ大会（5月8日（日）に宮崎市で開催）で見事優勝し、全国大会への切符を勝ち取りました。

県代表としての誇りを胸に、全国の舞台でも見事な走りを見せてくれることでしょう。



西臼杵観光推進連絡協議会公式Instagram

発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信

